

漢文

～基本知識の復習～

1 枚目

※左クリック、または、エンターキーを押すと

スライドが進んでいくよ！

※スマートホンの場合は、

画面タップかな・・・？



Q 漢文に關係する三書 を思い出してみる！

※ 1分間でノートにできるだけ多く書き出してみよう！

1分間しっかり
考えてから先に
進むんじゃぞ！

粘れ粘れ！
頭をフル回転
させるんじゃ！



- | | | |
|-------|------|--------|
| ○白文 | ○訓読文 | ○書き下し文 |
| ○現代語訳 | ○訓点 | ○送り仮名 |
| ○返り点 | ○レ点 | ○一・二点 |
| ○上・下点 | ○置き字 | |
- など

2枚目

覚えていたものも、忘れていたものも、
次のスライドから少しずつ振り返って
いきましょう！

学習の前に・・・

※そういえば...

なぜ、漢文を

学ぶのだろう？

「漢文」という学問が生まれたきっかけ



※クリックして動画を見てみよう！

7分30秒くらいの動画です。

[https://www.nhk.or.jp/kokugo/10min_kobun/?
das_id=D0005150073_00000#in=147&out=599](https://www.nhk.or.jp/kokugo/10min_kobun/?das_id=D0005150073_00000#in=147&out=599)

- ①虎の威を借る狐
- ②漢文と日本人
- ③杞憂 ④蛇足

- 出典：NHK For School “10 min. ボックス”
- 古文・漢文「漢文1 故事成語」



何千年もの歴史を持ち、豊かな文化を育んだ中国。昔から日本は、政治、哲学、文学など、幅広い分野にわたって影響を受けてきました。多くの情報が、書物を通じて日本にもたらされました。こうした文書を読むために、日本人はさまざまな工夫を凝らしました。まず、一つひとつの漢字を日本語読みにします。

「子（し）無（なかれ）敢（あへて）
食（くらふこと）我（われを）也」。

しかしこのままでは文章になっていません。中国語と日本語では文法が違うからです。そこで、「一」「二」「レ」などの記号を使い、意味が通じるように順番を入れ替えます。するとこうなります。

「子（し）敢（あへ）て我（われ）を
食（くら）ふこと無（な）かれ」。

日本語に読み替える方法を「訓読（くんどく）」といい、送り仮名や読む順番を示す記号などを「訓点（くんてん）」といいます。

訓点のルーツを伝える資料があります。光の角度を変えてその資料をよく見ると、余白に引っかいたような跡があります。これが、訓点のルーツと考えられています。さまざまな創意工夫を重ねることで、中国語で書かれた文章が読めるようになったのです。さらに江戸時代になると出版技術が発達し、多くの人々が中国の古典に親しめるようになりました。故事成語は、人々にその由来となる話が広がることで、身近な言葉として使われるようになっていったのです。



「漢文を学ぶ意味」を簡単にまとめよう…

「最初から簡単にしてよー!」という声もあるかもしれませんが、難しいことを学ぶことも大切なのです…



①日本人が普段何気なく使っている言葉には、
中国の古典に由来するものが少なくない!

↓言葉は、その国における文化や考え方を強く反映したもの。
↓どういじかは…日本の文化や考え方は、

【①中国の古典の影響を少なからず受けている】!

②例えば、一年次に学習した【②故事成語】、
社会科で習う聖徳太子の【③十七条の憲法】の
第一条、【④和をもって貴しと為す】とい
う言葉も中国の古典に由来している。

「有子曰ハク、礼之用ハ和ヲ為ス貴シト。」

⑤ 有子曰はく、礼の用は和を貴しと為す。

③みんなの考え方や価値観も【①】であるとする
ならば、みんなが漢文を学ぶことによって、
新たな価値観に触れたり、自分の考えを広げた
り、深めたりするきっかけがほしいのではあー!

「漢文を学ぶ」ということは、「自分探しの旅
をする」と言い換えることもできるのであー!

漢文は次のような流れで日本の文章に直すことができる！

①【白文】…漢字だけで書かれた中国の文章。

※句点(。)、読点(、)が付けれられて
いる場合もある。

歳 月 不 待 人



②【訓読文】…①に返り点や送りがないをつけて、日本語に
近づけた文章。返り点は漢字の左下、
送りがないはカタカナで右下につける。

漢字の読みはひらがな

歳 月 不 待 人。
ハ ズ タ ラ

漢字の読みはひらがな

送りがないはカタカナ

返り点は左下に書く

③【書き下し文】…②を漢字かなまじり(漢字とひらがな)に
書き改めた文章。※歴史的仮名遣いで書く
ことに注意！

漢字で読めるものは漢字のまま

歲月は人を待たず。

※助詞・助動詞にあたる漢字はひらがなで書く。

ここでは「不」↓「ず」(打消・否定の意味)

※「不」の活用：ず・ざラ(未然)／ず・ざリ(連用)／

ず(終止)／ざル(連体)／

ざレ(已然)／ざレ(命令)

※送りがないはひらがなに直す！

※返り点にしたがって語順が変わる！

④【現代語訳】…③を現代の日本語に書き改めた文章。
(現代の日本語に訳したもの)。

歲月は人を待たない。



※返り点と送りがないの二つを合わせて、

⑤【訓点】と呼ぶ。

漢文を読むときに重要な

「訓点」のルール！

① 送り仮名

歳 月^ハ 不^ズ 待^タ 人^ヲ。

送りがなは右下に、カタカナで書く！

送り仮名の原則！

① 漢字の右下にカタカナで書く！

② 文語文法に従い、歴史的仮名遣いで書く！

「思フ」は
「思ふ」となる！
↓
「思フ」は
×
「思ふ」

※例外として、「再読文字」の再読の場合は、漢字の左下につける。

② 返り点

歳 月^ハ 不^ズ 待^タ 人^ヲ。

返り点は左下に書く

返り点の原則！

① 漢字の左下に書く！

② 読むときは、上にある漢字から読み、返り点のある所だけを、その返り点に従って順序を入れかえる！



① 送り仮名

7 ページの復習から！

送り仮名の原則！

① 漢字の右下にカタカナで書く！

② 文語文法に従い、**歴史的仮名遣い**で書く！

※例外として、「再読文字」の再読の場合は、漢字の左下につける。

「思」は
「思ふ」となる！
↓
✗「思つ」

※書き下し文を作るとき**の**注意点

① 漢字の「読みがな」と「送り仮名」の区別に注意しよう！

ハ ラシテ コウ
日 照 香 炉 生 紫 煙
ニ ニ ニ ニ ニ
ろ ラ ズ し えん ラ

赤字は「送り仮名」のため、書き下し文に表れる。
緑字は、「読みがな」のため、漢字で表記される。
※「読みがな」は、みんなに言葉の意味を伝わりやすくするために補助的に付けられたもの！

日は香炉を照らして紫煙を生ず

8 枚目



※書き下し文を作るとききの注意点

② 「置き字」に注意しよう！

「置き字」：

名詞や動詞などに補助的な意味を付け加える「助字」の一種である。

超重要！

置き字は訓読の際に読まない
(書き下し文には書かない)！

学^{ビテ} 而 時^ニ 習^フ 之^ヲ



※「而」は置き字なので
書き下し文には表さない。

学^ビびて時に之を習^ハふ

※置き字は意味を持っているが、「送り仮名」ですでに
意味が補われているから、書き下し文には書かない。
(意味をもたないわけではない)

※右の「而」は「〜して」
(順接)の意味を持つ。

※置き字には「而」^じのほかにも、
「於」^お「于」^う「矣」^い「焉」^{えん}「兮」^{けい}などがある。

9枚目

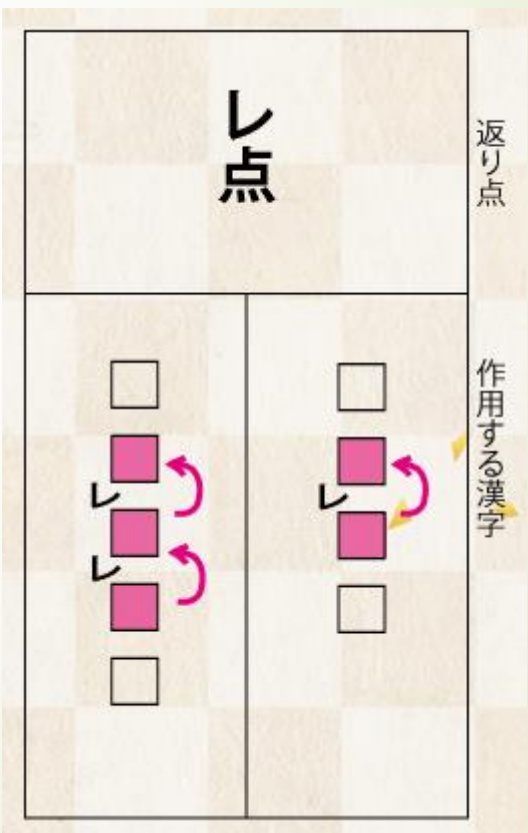


② 返り点

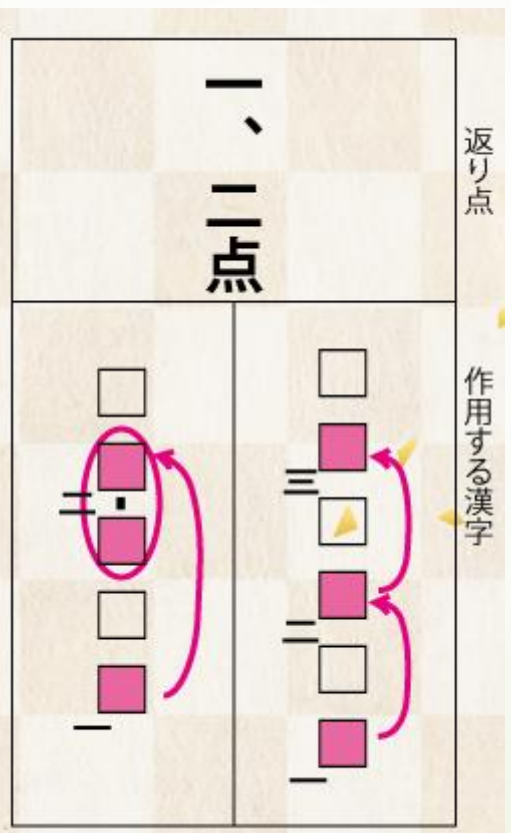
返り点には、主なものに以下の二つがある。



(1) レ点



(2) 一・二点



※その他のものに次のようなものがある。

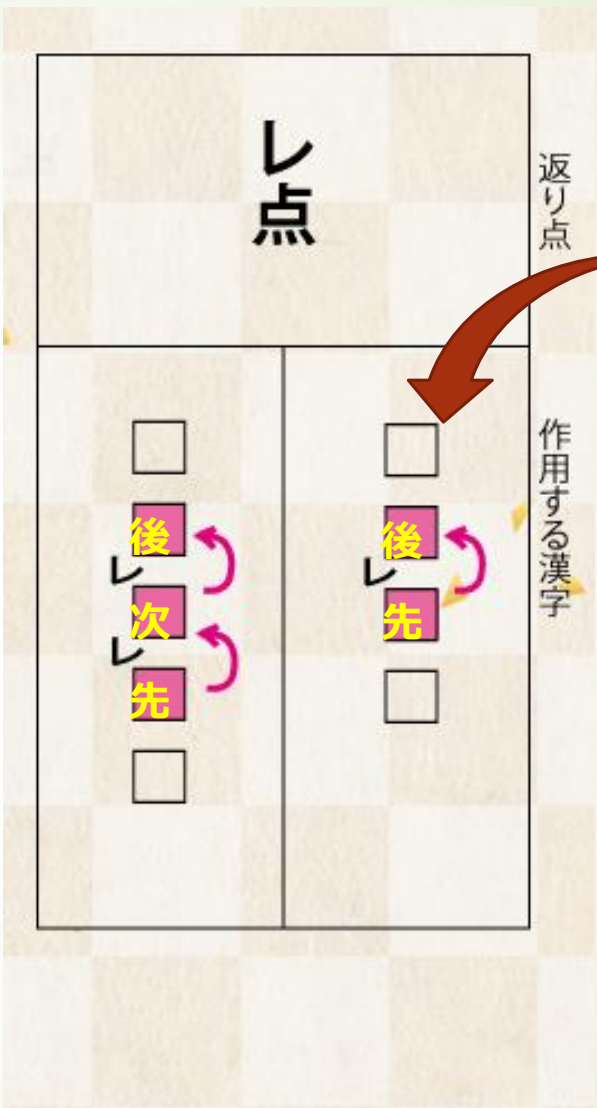
○レ点 (一点+レ点) ⇓ いちれ点

○上・下点 甲・乙点 天・地点
(⇓) 一・二点と似た役割をもつ。

※次のスライドから詳しく学んでいこう！

(1) し点：一字だけ上に返って読むことを示す記号。

「し点がついた漢字」の真下の漢字を読むことができたなら、返ってきて読む。



◇練習問題 (書き下し文に直そう)

① 上善ハシノ若水。

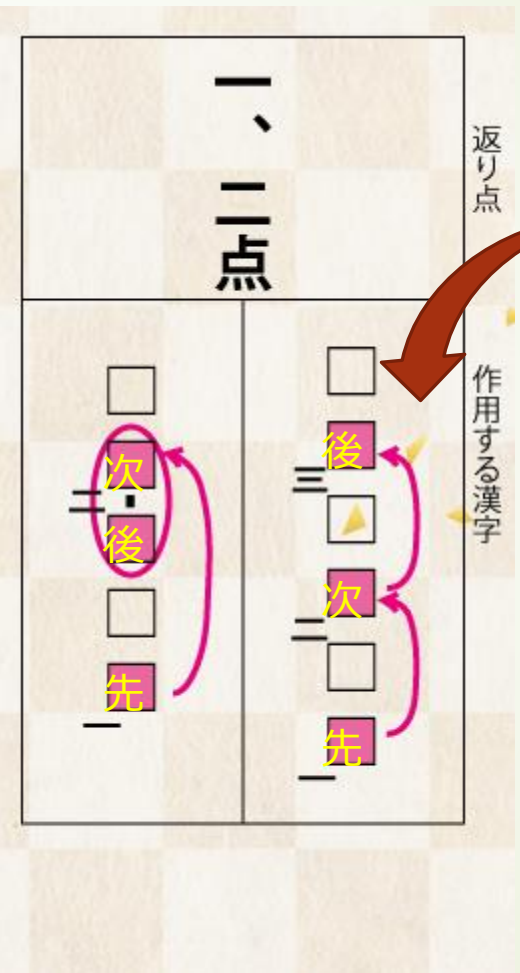
↓上善は水のごとし。
「最上の善は、水のようにだ」

② 皆得タリ免カル難ヲ。

↓皆難を免かるるを得たり。
「みんな災難を免れることができた」



「一点がついた漢字」を読んだら、「二点がついた漢字」を読む。間に一字以上の漢字が挟まれているときのみ使用される。



◇練習問題 (書き下し文に直そう)

①霜葉ハナリ紅ナリ於ノ二月花ヨリモ。

↓霜葉は二月の花よりも紅なり。

「霜が降って紅葉した葉は、

二月に咲く花よりも赤い。」

②諸侯卒、十ス倍於ニ秦。

↓諸侯の卒、秦に十倍す。

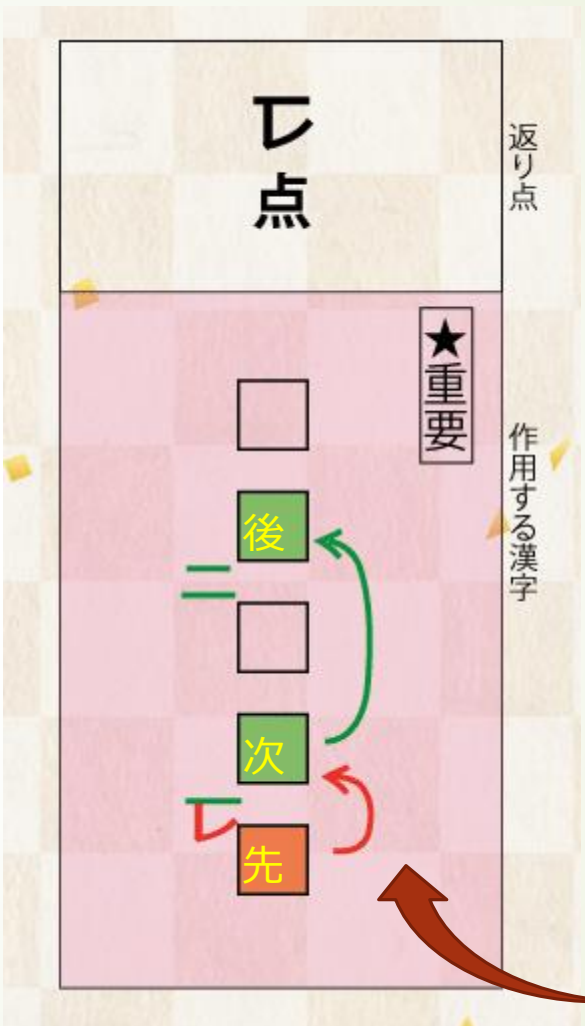
「諸侯の兵は、

秦(の兵)を十倍したくらいいる。」



(3) ㄥ (いちれ) 点

「ㄥ点」の規則に従って、真下の一字を読んだ後、「二点」の規則に従って、「三点」が見ついた漢字へ飛んで読む。



◇練習問題 (書き下し文に直そう)

九年^{ニシテ}教^フ之^ニ数^{フル}コトヲ^ラヲ^フ日[。]

↓九年にして

之に日を数ふることを教ふ。

「九歳になると

この子に日にちの数え方を教える。」

13枚目

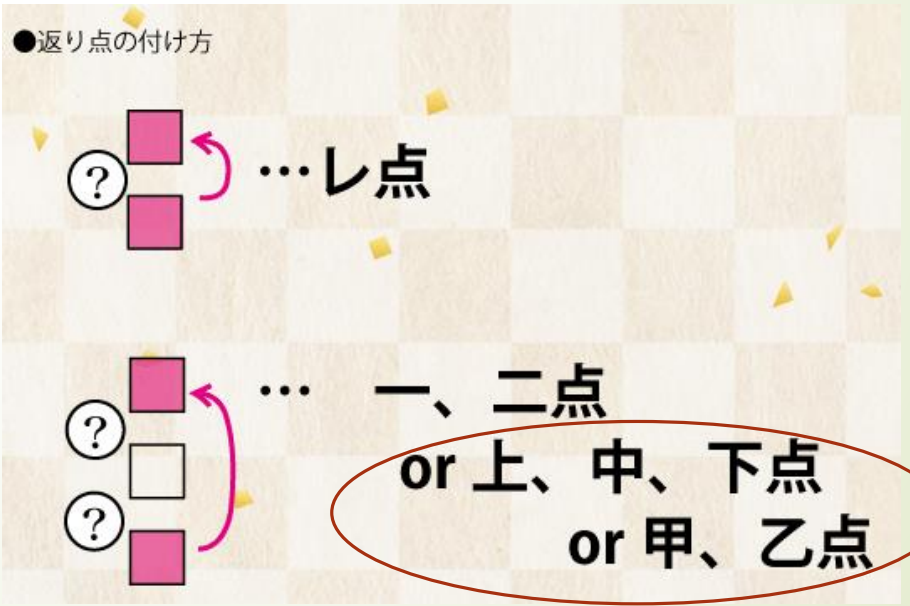


発展…その他の返り点

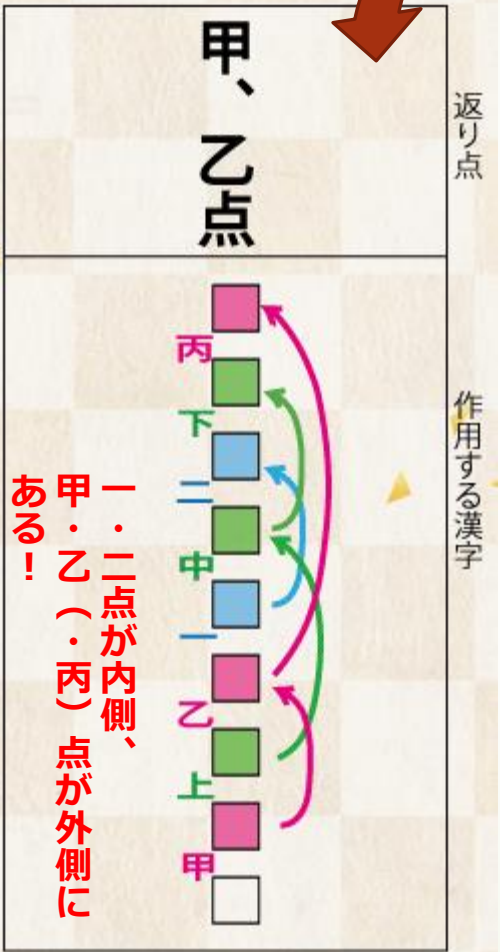


一・二点、上・下点、甲・乙点は、いずれも同じ規則をもつ。「一」は「二」へ、「上」は「下」へ、「甲」は「乙」へ帰って読む。

ただし、登場する優先順位があり、上・下点は「一・二点」を間にはさむとき、甲・乙点は「一・二点」と「上・下点」の両方を間にはさむとき、と決まっている！



※例



莫^シ不^ル延^{バシテ}頸^ヲ欲^セ為^ニ太子^ノ死^{スル}者^ヲ。

↓頸を延ばして太子の為に死するを欲せざる者莫し。

「首を伸ばして太子のために死にたがらない者はいません。」

(「皆、太子のためなら死ぬ覚悟だ」)

☆書き下し文から訓読文をつくる！

漢文の問題には、ここまでに取り組んだような、「訓読文から書き下し文をつくる」問題のほかにも、「書き下し文から訓読文を作る」問題も出題されることがある！

※例 書き下し文を参考にして、

次の白文に訓点をつけなさい。
(訓読文を作りなさい)

己所不欲、勿施於人。

- ① (己の欲せざる所、
- ② 人に施すこと勿かれ。)
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

考え方！

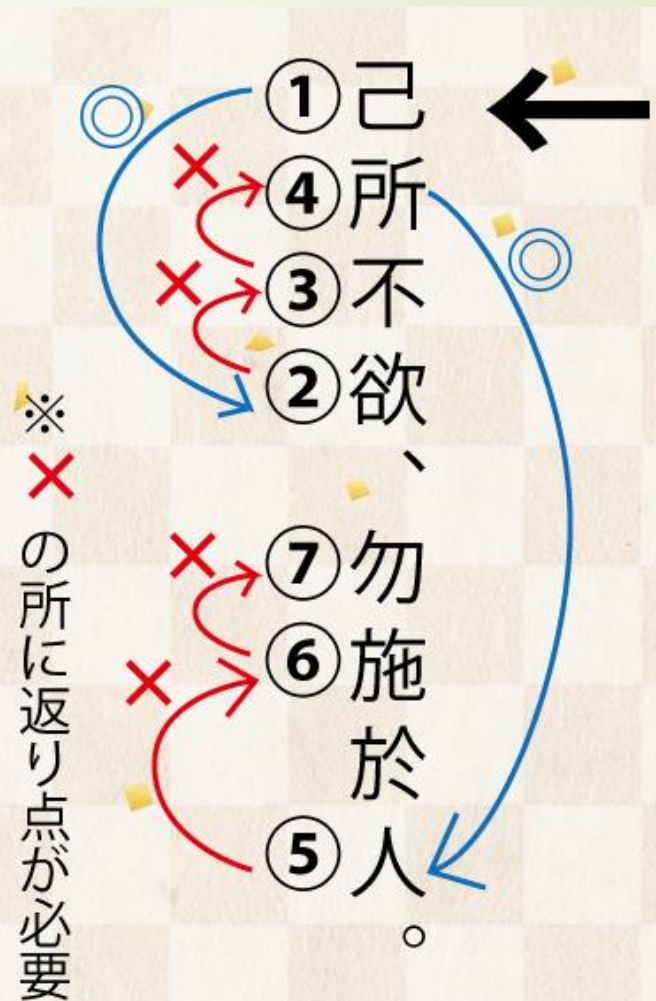
- ① 漢字の順番を見比べる
(置き字(於)はとばす)。
 - ② 書き下し文の順番になるように
返り点をつける。
 - ③ 送り仮名をカタカナで、漢字の
右下に書く。
- ※ 助詞や助動詞はひらがなに
直されているので注意する。



①漢字の順番を見比べる（置き字（於）はとばす）

己所不欲、勿施於人。

①（己の欲せざる所、
②人に施すこと勿かれ。）
③
④
⑤
⑥
⑦



②書き下し文の順番になるように返り点をつける。

己 所 不 欲 、 勿 施 於 人

③送り仮名をカタカナで、漢字の右下に書く。

己 所 不 欲 、 勿 施 於 人

一つ一つの手順を確実に、
丁寧に行うことが、正解への
近道になります！

16枚目



◇練習問題

(書き下し文を参考に、訓読文に直そう)

① 百聞不如一見。
百聞は一見に如かず。

百聞^ハ不如^カ一見^ニ。

② 知我之不遇明君。
我の明君に**遇**はざるを知る。

※ヒント: 「之」は助詞なので、書き下し文では「の」と書かれている。

知^ル我^ニ之不^ル遇^ハ明君^ニ。



説明はここまで！

次のスライドからは

「問題演習」！

問題を解くなかで、

知識を定着させよう！

18枚目



読む順番

並び替えゲーム！

解答

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
7	7	6	2	6	5	5	1	4	1	1	1	1	1	1
下	下	下	レ	下	三	二		二						
5	5	4	1	4	1	3	5	2	5	5	2	3	2	2
レ	二	レ		二		レ	レ	レ	二	レ		レ		
4	1	3	6	1	4	2	4	1	2	4	5	2	4	3
二		二	二		二	レ	二			レ	レ		レ	
1	3	1	3	2	2	1	2	3	3	3	4	4	3	
	レ							一		レ	レ			
3	2	2	5	3	3	4	3	5	4	2	3	5		
レ		一	レ	一	一	一	一	一	一					
2	4	5	4	5										
	一	上		上										
6	6													
上	上													

返り点のルールはもう完ぺきじゃな！



「書き下し文」完成ゲーム！

次の訓読文を書き下し文に直そう！

※目標時間…5分（全五問）

①城ニシテ春草木深。

②田でん ちゅうニ中有株。

③傍かたはラニ若シ無人キガ。
※「若」は「ごとし」と読む助動詞です！

④以ニ五十歩笑百歩。

⑤有下婦人哭於墓者上。

- ① 漢字の順番を並び替える（置き字はとばす）。
- ② 送り仮名をつける。
- ③ 助詞や助動詞はひらがなに直して書く。

答えを見る前に、
しっかりと見直し
をしよう！

21枚目



「書き下し文」完成ゲーム！

解答

① 城春にして草木深し。

② 田中に株有り。

③ 傍らに人無きがごとし。

※「若し(ごとし)」「は、助動詞のため、ひらがなに直して書く。

④ 五十歩を以て百歩を笑ふ。

※書き下し文では、歴史的仮名遣いそのまま書く。(現代仮名遣いにしない)

⑤ 婦人の墓に哭する者有り。

※「於」は置き字といい、書き下し文には書かない。

解説に書いてある内容は、超重要なことなので、しっかり確認しておこう！



「訓読文」完成ゲーム！

次の書き下し文を参考に白文に訓点
(返り点と送り仮名)をつけよう！

われ

※目標時間：5分（全五問）

① 吾 為 子 先 行 。

「吾子の為に先行せん。」

（あなたのために私が先に
行きますよう。）

② 不 可 不 語 。

※「不」は「ず」や「ぬ
(ル)」と読む助動詞、
「可」は「べ(カラ)」
と読む助動詞です！

「語げざるべからず。」

（告げなくてはならない。）

③ 尽 人 事 待 天 命 。

「人事を尽くして天命を待つ。」

（人にできることは全て行った
ので、結果は天に任せる。）

23枚目

ここが折り返し！
もう一踏ん張り！



「訓読文」完成ゲーム②

次の書き下し文を参考に白文に訓点
(返り点と送り仮名)をつけよう！

※目標時間…5分(全五問)

④ 従 心 所 欲 。

「心の欲する所に従ふ。」

(自分の望むままに行動する。)

⑤ 君 子 不 以 言 拳 人 。

「君子は言を以て人を拳げず。」

(君子は言葉だけで人を採用
したりはしない。)

※ 不 為 児 孫 買 美 田 。

「児孫の為に美田を買はず。」

(子孫のために財産は残さない。)

24枚目

※印の問題は、超難問
です！余裕のある人は
挑戦してみよう！
今までの知識をフルに
活用しよう！



「訓読文」完成ゲーム！

解答

① 吾_ニ 為_レ 子_ノ 先_ニ 行_セ。

② 不_レ 可_{カラ} 不_レ 語_ル 語_ゲ。

③ 尽_ニ 人_{クシテ} 事_ヲ 待_ツ 天_ニ 命_ヲ。

④ 從_ニ 心_ノ 所_ニ 欲_{スル}。

⑤ 君_ニ 子_ハ 不_ニ 以_テ 言_ヲ 拳_ゲ 人_ヲ。

※ 不_下 為_ニ 兒_ニ 孫_ノ 買_中 美_ハ 田_上。

25枚目

ナイスファイト！
これでお主も漢文
マスターじゃ！



認定証

漢文基本マスター

貴殿は、令和二年前期に
実施された「漢文基本講座」
において、人並外れた好奇心
と集中力をもって取り組み、
漢文の知識に対する理解を
深め、自身の力を伸ばすべく
努力しました。

その姿勢に敬意を表し、頭
書の栄誉をたたえます。

令和二年五月吉日

緑野中学校 国語科